

改正後	改正前
<div data-bbox="443 229 857 260" data-label="Section-Header"> <p>LNGバンカー船停泊時の基準等</p> </div> <div data-bbox="981 181 1090 212" data-label="Text"> <p>(別紙2)</p> </div> <div data-bbox="197 316 636 346" data-label="Section-Header"> <p>1 LNGバンカー船停泊時の基準</p> </div> <div data-bbox="203 357 387 387" data-label="Section-Header"> <p>(1) 立地条件</p> </div> <div data-bbox="253 400 1108 695" data-label="Text"> <p><u>イ</u> SOLASフェンス等の既存の物理的障壁の有無や岸壁利用者の立入状況、照明設備・監視装置の設置状況等LNGバンカー船からの視認性などを勘案し、LNGバンカー船への部外者の接近・侵入を防止するために必要な範囲を、次に掲げるいずれかの方法により、立入禁止区域として岸壁上に設定した上で、立入りを禁ずる旨記載した札等を標示すること。なお、(ロ)・(ハ)による措置は、十分な安全性が確保できる場合に限る。</p> </div> <div data-bbox="264 707 1090 782" data-label="Text"> <p>(イ) SOLASフェンス等既存の物理的障壁又は仮設フェンス等によること。</p> </div> <div data-bbox="264 793 1090 869" data-label="Text"> <p>(ロ) カラーコーン及びコーンバー等によってLNGバンカー船の船体又は舷梯の周囲を囲むこと。</p> </div> <div data-bbox="264 880 990 912" data-label="Text"> <p>(ハ) LNGバンカー船の舷梯の入口にロープを張ること。</p> </div> <div data-bbox="244 924 1108 1000" data-label="Text"> <p><u>ロ</u> LNGバンカー船の近傍において、火気使用制限を明示する等十分な注意喚起を行うこと。</p> </div> <div data-bbox="244 1144 1084 1219" data-label="Text"> <p><u>ハ</u> 付近の事業所等に事業と立入禁止措置等の安全対策について周知すること。</p> </div> <div data-bbox="244 1230 1099 1351" data-label="Text"> <p>ニ LNGバンカー船から他の停泊船舶までの距離が30メートル以上あり、また、付近航行船舶が30メートル以上離れて航行する余地があること。</p> </div> <div data-bbox="271 1361 1088 1482" data-label="Text"> <p><u>ただし、付近の停泊船舶及び航行船舶の種類、大きさ、ふくそう状況等により、LNGバンカー船との衝突の危険性が極めて低いと認められる場合は、この限りでない。</u></p> </div>	<div data-bbox="1384 229 1798 260" data-label="Section-Header"> <p>LNGバンカー船停泊時の基準等</p> </div> <div data-bbox="1926 181 2036 212" data-label="Text"> <p>(別紙2)</p> </div> <div data-bbox="1140 316 1579 346" data-label="Section-Header"> <p>1 LNGバンカー船停泊時の基準</p> </div> <div data-bbox="1146 357 1330 387" data-label="Section-Header"> <p>(1) 立地条件</p> </div> <div data-bbox="1187 400 2029 477" data-label="Text"> <p><u>イ</u> 岸壁上に物理的障壁を設置することにより、一時的に占有、制限する等し、立入りが禁止できること。</p> </div> <div data-bbox="1216 488 2029 695" data-label="Text"> <p>ただし、SOLASフェンス等の既設の物理的障壁内にあり、定係地とする岸壁の利用者が制限されている場合は、仮設の障壁を使用し、一時的に占有、制限する等し、立入りが禁止できること。なお、既設の物理的障壁内の岸壁を、全て一時的に占有して使用する場合は、追加措置は不要とする。</p> </div> <div data-bbox="1187 924 2042 1000" data-label="Text"> <p><u>ロ</u> LNGバンカー船との距離30メートル以内の区域を火気使用制限区域として明示すること。</p> </div> <div data-bbox="1216 1011 2029 1133" data-label="Text"> <p>ただし、岸壁の突端にLNGバンカー船を停泊する場合において、係留にかかる安全性が確認されている場合には、突端側の岸壁上に限り、上記の距離を減ずることができる。</p> </div> <div data-bbox="1187 1144 1901 1176" data-label="Text"> <p><u>ハ</u> 原則として、付近の事業所等の同意が得られること。</p> </div> <div data-bbox="1187 1230 2042 1351" data-label="Text"> <p>ニ LNGバンカー船から他の停泊船舶までの距離が30メートル以上あり、また、付近航行船舶が30メートル以上離れて航行する余地が<u>十分</u>あること。</p> </div>

ホ その他係留施設の管理者等が指示する事項が遵守されていること。

(2) 照明設備

立入禁止区域への部外者の侵入接近を防止するために照明設備を設置する場合は、照明範囲の平均水平面照度 5 ルクス以上の照度が得られるものであること。

(3) 消防・防災設備等

イ LNGバンカー船の火災等が発生した場合の消火、延焼防止、タンクの冷却等のために必要な消火設備（消火栓の数、ホースの長さ等）が整備されていること。

なお、消火栓が岸壁上に設置されていない場合や、消火栓の数が不足する場合は、可搬消防ポンプにより、海水を吸引して使用しても差し支えない。

ロ 消火栓、消火要具その他危険の除去に必要な要具等は、その所在位置を明確にしておき、使用方法について慣熟しておくこと。

ハ （略）

2 （略）

3 LNGバンカー船停泊承認の際の審査基準

(1)・(2) （略）

(3) 火気の使用制限等について

LNGバンカー船の近傍において、次のような事項を制限するための注意喚起が行われていること。

イ 喫煙その他火気の使用

ロ マッチ及びライター等の発火器具の携行

ハ 立入禁止区域内への関係者以外の立入り

(新設)

(2) 電気、照明設備

岸壁上の照明設備その他の電気設備は、引火の原因とならないものであること。

ただし、火気使用制限区域外への設置については、この限りでない。

また、立入禁止区域への部外者の侵入接近を防止するために設置する照明設備は、照明範囲の平均水平面照度 5 ルクス以上の照度が得られるものであること。

(3) 消防・防災設備等

イ LNGバンカー船の火災又はLNG漏洩等が発生した場合の消火、延焼防止、タンクの冷却等のために必要な消火設備（消火栓の数、ホースの長さ等）が整備されていること。

なお、消火栓が岸壁上に設置されていない場合や、消火栓が不足する場合にあっては、火気使用制限区域外に設置した可搬消防ポンプにより、海水を吸引して使用しても差し支えない。

ロ 消火栓、消火要具その他危険の除去に必要な要具等は、その所在位置を明確にしておき、停泊中は、即時使用可能な状態にしておくこと。

ハ （略）

2 （略）

3 LNGバンカー船停泊承認の際の審査基準

(1)・(2) （略）

(3) 火気の使用及び立入りの禁止の要領について

イ 火気使用制限区域においては、次のような事項を禁止し、必要に応じ、境界柵をおき、注意事項を掲示する等の措置を講じてあること。

(イ) 関係者以外の立入り

(ロ) 消防自動車以外の自動車の立入り

<p>(4) その他</p> <p>イ 着棧中のLNGバンカー船から30メートル以内の水面に他船が接近しないよう、LNGバンカー船が着棧中においても30メートル以遠から視認できる標識を<u>設置するとともに、常時周囲の状況を監視する体制が敷かれていること。</u></p> <p>ロ・ハ (略)</p>	<p>(ハ) マッチ、ライターその他火炎又は火花を発するおそれのある器具の携行</p> <p>(ニ) 喫煙その他火気の使用</p> <p>ロ 火気使用制限区域外においても適正に火気の管理が行われていること。</p> <p>(4) その他</p> <p>イ 着棧中のLNGバンカー船から30メートル以内の水面に他船が接近しないよう、LNGバンカー船が着棧中においても30メートル以遠から視認できる標識を<u>設置するか警戒船(員)を配置することとしていること。</u></p> <p>ロ・ハ (略)</p>
---	--